

# 3号機使用済燃料プール内大型ガレキ撤去作業の進捗状況について

平成26年8月28日  
東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

## 3号機大型ガレキ撤去作業の進捗状況について

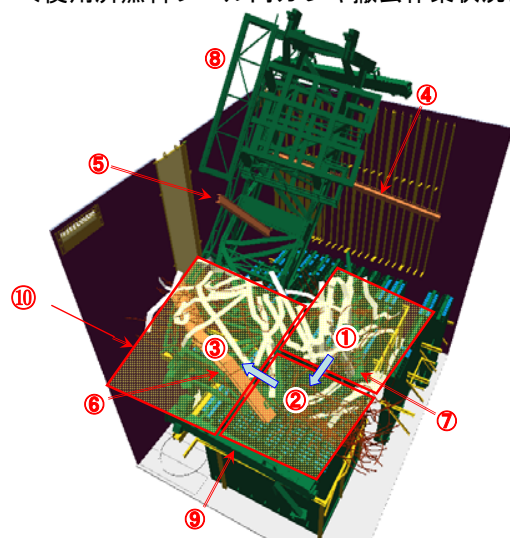
- ▶ 3号機使用済燃料プールからの燃料取り出しに向け、使用済燃料プール内の大型ガレキ撤去を開始(12/17)。
- ▶ 3月中にFHMに干渉している鉄筋・デッキプレート等の撤去をほぼ完了。FHM撤去作業に着手。
- ▶ 撤去ガレキ量は累計で鉄筋322本、デッキプレート55枚、屋根トラス材6本、走行式補助ホイスト1基(8月27日現在)



<使用済燃料プール内ガレキ撤去作業状況>

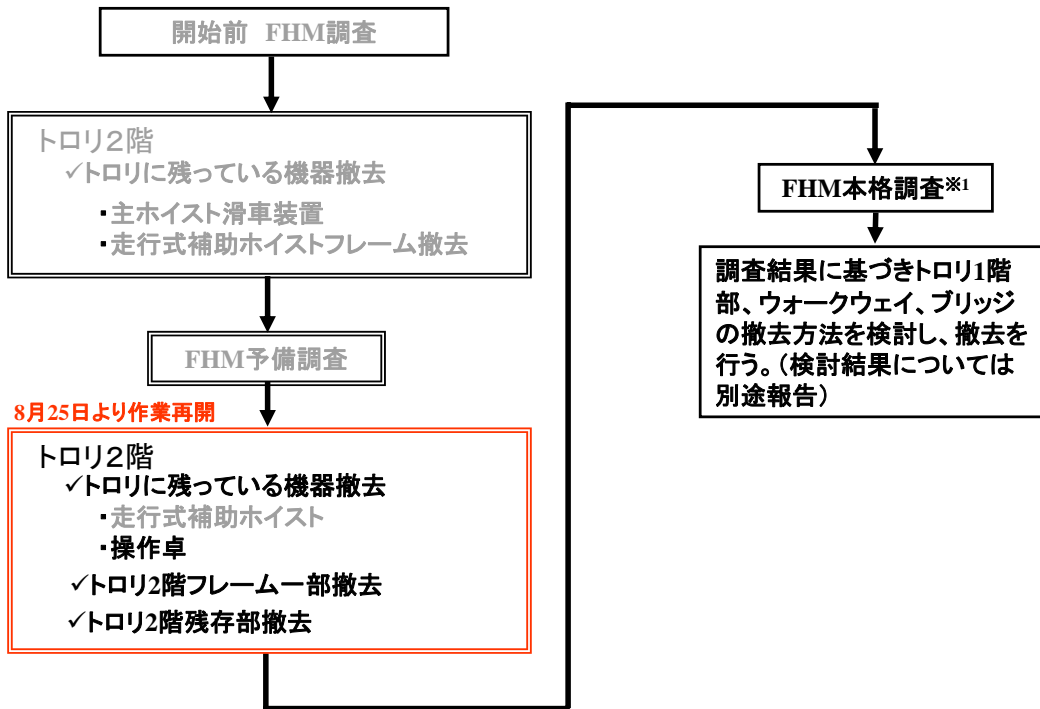
### 使用済燃料プール内大型ガレキ撤去順序

0. 落下防止対策(ライニング養生)
1. FHMに干渉していないガレキの撤去(①~③)
2. FHMに干渉しているガレキの撤去(③~⑦)
- 3. FHMの撤去(⑧)** 現在実施中
4. FHM西側エンドトラックの撤去(⑨)
5. キャスクエリアのガレキ撤去(⑩)



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

# FHM撤去フロー



# 作業概要案

撤去対象機器	作業概要
走行式補助ホイス卜	対象瓦礫を鋼材用カッターで把持し、オペフロ上に仮置き。対象瓦礫に繋がっているケーブルを鋼材用カッターを用いて撤去。ケーブル撤去後、鋼材用カッターで対象瓦礫を撤去。(参考)参照)
操作卓	対象瓦礫を小型フォークで把持し、対象瓦礫に繋がっているケーブルをケーブル用カッターで切断。切断後、小型フォークで瓦礫を撤去。
トロリ2階フレーム一部	撤去対象部位を瓦礫落下防止把持具で把持しながら、鋼材用カッターにて切断して撤去。
トロリ2階残存部	鋼材用カッター、ケーブル用カッターにてトロリ2階部のサブフレームを切断。その後、エンジン付フォークで撤去対象部を把持し、鋼材用カッターでメインフレームを切断・撤去。

# (参考) 走行式補助ホイスト撤去

(1) 水中にて鋼材用カッターで走行用補助ホイストを把持



鋼材用カッター

走行用補助ホイスト

(2) 気中へ巻上げ



鋼材用カッター

(3) オペフロ上に仮置き



走行用補助ホイスト用ケーブル

(4) 走行用補助ホイスト用ケーブル撤去

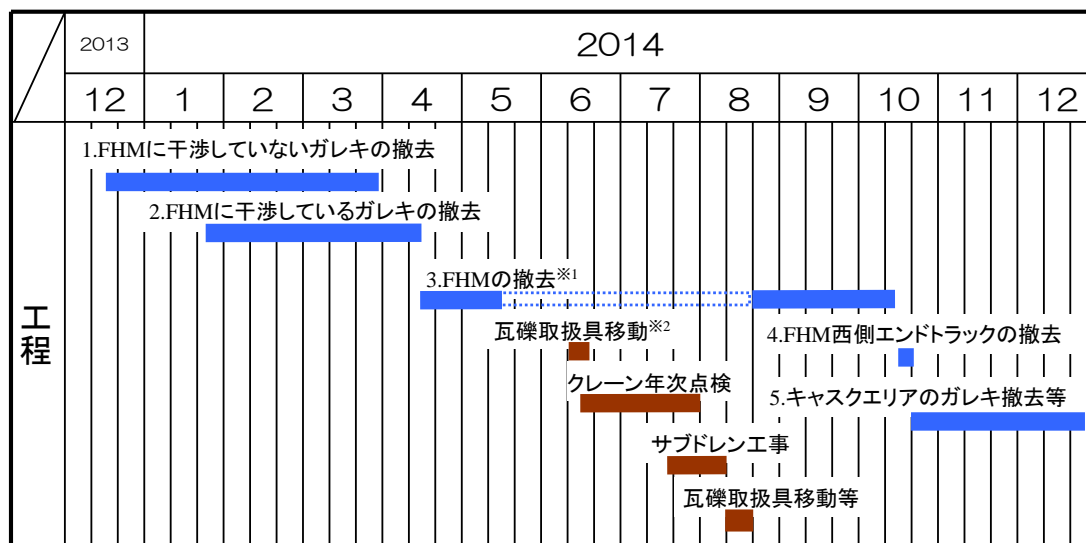


(5) オペフロより走行用補助ホイスト撤去



東京電力

# (参考) 工程案



※1:FHMの状況が十分把握できないため、撤去作業の進捗に応じて、工程・手順の見直しを行う予定。

※2:クレーン年次点検スペース確保のため。



東京電力

## ガレキ撤去状況（参考資料）

### ○プール内ガレキ

（平成26年8月27日現在）

名 称	撤去実績	前回実績 (H26.6.26)	総量	備 考
鉄筋(約0.01t)	322本	322本	330本※1	10mと想定
デッキプレート(約0.04t)	55枚	55枚	65枚※1	
屋根トラス材(約0.8t)	6本	6本	9本※2	
コンクリートガレキ(約0.07t)	-	-	-	0～500mm程度 人頭大コンクリートガレキ (300×300×300(mm))
FHMマスト(約1.6t)	1本	1本	1本	
FHM(約35t)	0基	0基	1基	トバリ2階部：走行式補助ホイストフレーム、主 ホイスト滑車装置、 <b>走行式補助 ホイスト</b> 撤去済
FHMエンドトラック(約2.6t)	0本	0本	1本	
その他ガレキ	56個	46個	-	手摺、鉄板、チェッカープレート等

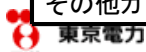
※1 プール内ガレキの推定量であり、実際と異なる。なお、ガレキ撤去作業の進捗に伴い、作業開始前に確認された量から変更した。

※2 プール内に落下している屋根トラス材の推定量。

### ○気中ガレキ

（平成26年8月27日現在）




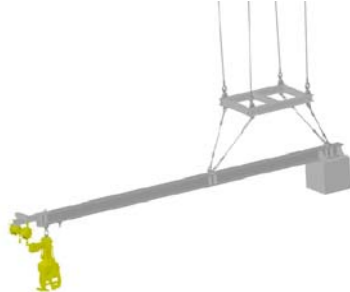
名 称	撤去実績	前回実績 (H26.6.26)	備 考
鉄筋	25本	25本	FHMに干渉していた鉄筋
その他ガレキ	16個	16個	手摺、チェッカープレート、制御盤扉、鉄板、端子台、配管等



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

6




## （参考）ガレキ取扱具

			
鋼材用カッター	大型カッター	ケーブル用カッター	ガレキ落下防止把持具 (クランプ型)
鋼材を切断、または把持して撤去する場合に使用。刃の根本部分で旋回・曲げ動作が可能。FHM構成部材へのアクセスが大型カッターに比べ容易。	鋼材を切断、または把持して撤去する場合に使用。刃の根本部分で旋回・曲げ動作が可能。	鋼材用カッターに取付けて使用。ケーブル、細い鋼材の切断に使用。	鋼材を切断する際に、切断片を把持して撤去するために使用。カウンタウエイトにより、ガレキ（鋼材）を把持した状態で姿勢を維持可能。 クレーン2台を同時に使う場合にクレーン同士が接近しないよう、天秤を使用。



7

## (参考) ガレキ取扱具

		
パンチ	小型フォーク	エンジン付フォーク
鉄筋、デッキプレート等を把持して撤去する場合に使用。	水中・気中のガレキ（鋼材、コンクリート等）を把持して撤去する場合に使用。	気中のガレキ（鋼材、コンクリート等）を把持して撤去する場合に使用。